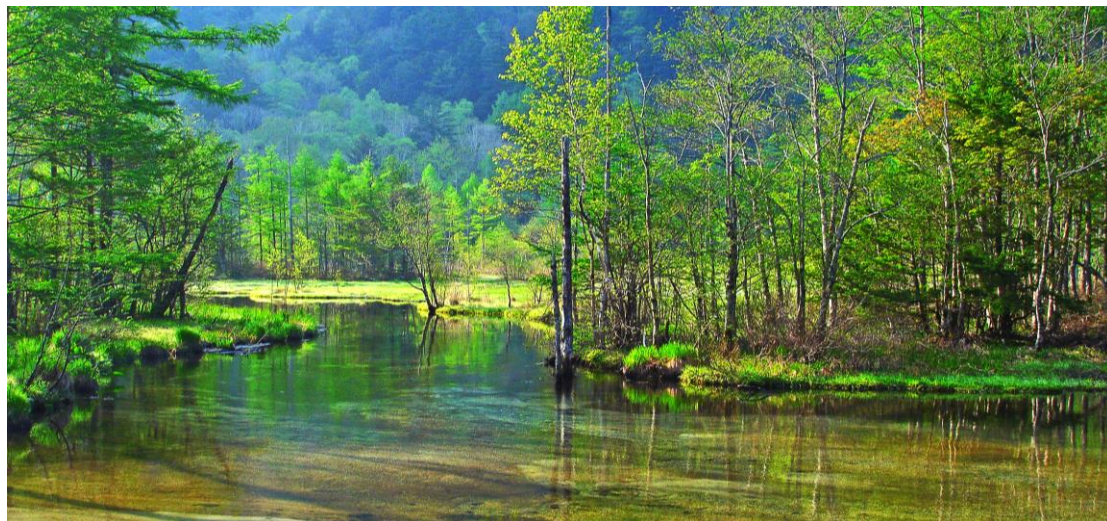


令和3年度
一般社団法人松本市アルプス山岳郷

定時社員総会



#アルプスの感動を日々の暮らしに

2021年5月18日

一般社団法人松本市アルプス山岳郷 令和3年度定時社員総会次第

日程：令和3年5月18日（火） 13：30～
会場：アルプスの郷 2階 会議室

次 第

1 開会のことば

1 代表理事挨拶

1 議事

第1号議案 令和2年度事業報告および収支決算報告について

第2号議案 令和3年度事業計画案および予算案について

第3号議案 理事の変更について

その他

1 来賓あいさつ

1 閉会のことば

第1号議案 令和2年度事業報告および収支決算報告

＜アルプス山岳郷のミッション＞

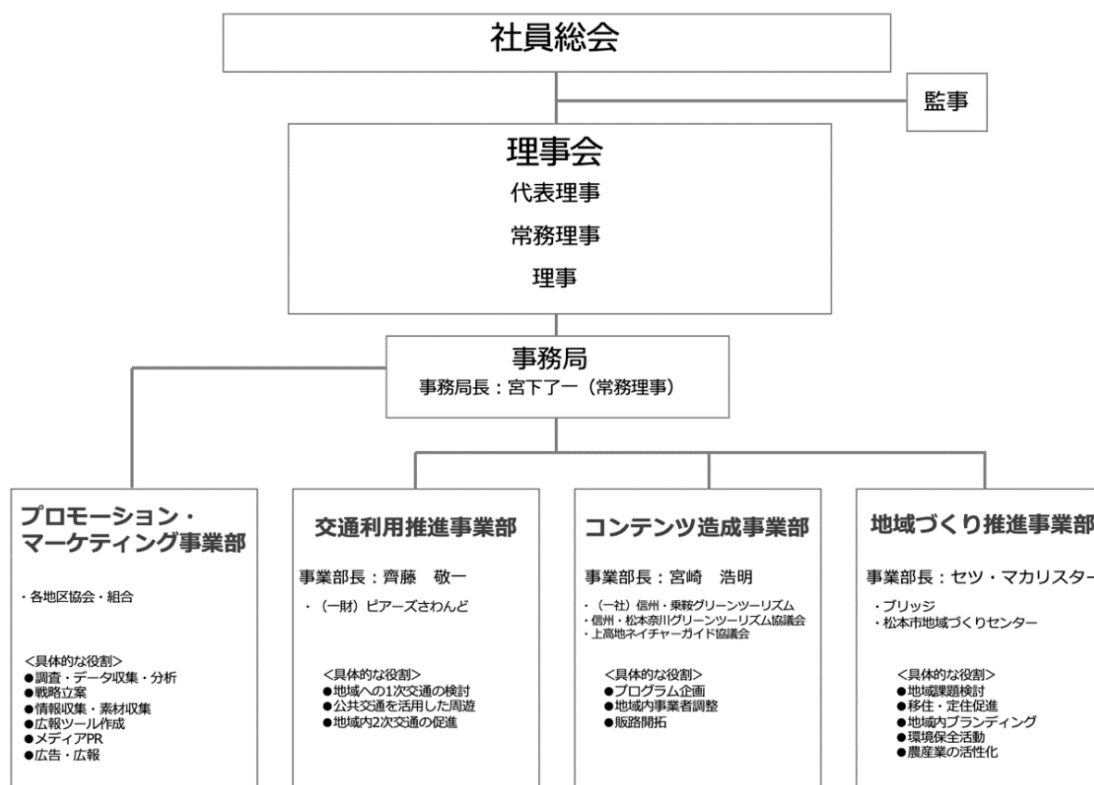
(一社)松本市アルプス山岳郷は、松本の西山地区である
槍穂高・上高地・乗鞍高原・白骨温泉・沢渡・奈川の6地区
が横断的に向上していき、**地域が自立していくための下支え
をすることを**ミッションに活動し、エリア全体の交流人口拡大・産業化・雇用促進・移住/定住促進を実現していく。

＜活動指針＞

地域に住む皆様の
豊かな暮らしづくりを
支える活動

訪れる人がこの素晴らしい自然
の体験を通じて“アルプス山岳
郷エリア”の魅力を感じ、また
来たいと思える環境を作る活動

＜組織体制＞



令和2年度事業概要

1	観光案内所運営
	<p>山岳郷エリアの観光窓口として村の駅アルプスの郷において観光案内業務を行い、来訪における案内業務を実施する。</p> <p>①村の駅アルプスの郷における対面窓口案内業務 ②村の駅アルプスの郷における電話対応案内業務 ③雑誌校正・取材対応業務</p>
2	プロモーション事業
	<p>山岳郷エリアの市場価値を高め、認知向上だけでなく来訪・再訪につながる取組を通じて、交流人口拡大・地域消費の増加をめざす。</p> <p>①アルプス山岳郷マップ作成（日本語・英語） ②360度カメラPR素材作成 ③WEBサイト運用</p>
3	マーケティング事業
	<p>山岳郷エリアの市場価値を高め、認知向上だけでなく来訪・再訪につながる取組を通じて、交流人口拡大・地域消費の増加をめざす。</p> <p>①域内事業者向けアンケート調査実施 ②来訪者向けネット需要調査</p>
4	交通利用推進事業
	<p>エリア内をスムーズに周遊できる二次交通の開発・確立をめざす。</p> <p>①アルピコ交通との協力/連携によるバス利用の改善・検討 ②ナショナルパークゲート及び沢渡BTの有効活用の検討</p>
5	地域づくり推進事業
	<p>地域に住む皆様の豊かな暮らしづくりを下支えすること</p> <p>①奈川の地域づくりに関わるファシリテートの実施 ②地域の景観整備に関する有識者招聘 ③地域づくりインタビュー記事の作成</p>
6	【環境省補助金活用】eBIKEを活用した観光コンテンツ開発事業（コンテンツ造成事業）
	<p>「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。</p> <p>①eBIKEの購入②ガイドモニターの実施 ③情報発信のためのアプリの作成④情報発信のためのWEBページの作成⑤人材育成のためのガイドノート作成</p>
7	【環境省補助金活用】冬の国立公園「大人の合宿」形成事業（コンテンツ造成事業）
	<p>「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。</p> <p>①地域内ワークショップの実施②コンセプト需要調査の実施③モニターツアーの実施 ④情報発信のためのWEBページの作成⑤情報発信のためのオンラインコンテンツの作成</p>
8	【元気づくり支援金活用】新価値創造モデルを活用したコンテンツ開発および地域PR推進事業（コンテンツ造成事業）
	<p>「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。</p> <p>①オリエンカード（PDFデータにて6種類のカードを作成）②動画制作（オリエンおよびPR用として2分30秒の動画1本）③Google広告の配信（事業期間中1700万表示/57200クリック） ④調査実施・分析（個別プログラム参加者20ssの回答を回収・分析）</p>
9	【観光庁実証事業活用】アルプスフォトクエスト事業（コンテンツ造成事業）
	<p>「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。</p> <p>①温泉を目標として来ている顧客層をターゲットに景色を楽しむフォトコンテンツを訴求する。 ・冬の絶景ポイントを見ることが出来るアプリを開発し、温泉以外の過ごし方を提案する。 ②ラジオメディアと連携したPRおよび高付加価値ガイドツアーの開発を行う。 ・各分野の専門家（プロカメラマンなど）が案内する専門性の高い少人数制のツアーを作成することで価値を高め冬の上高地の新たなブランド化を目指す。</p>
10	【観光庁事業活用】ALPS-CONCIERGEシステム構築事業（コンテンツ造成事業）
	<p>外部から専門人材を登用することで、地域内プログラムの販売強化に向け予約・決済システムを開発し、収益源の確保に向けたビジネスモデルを構築する。</p> <p>①観光プログラムの開発・運営スキームの調整・販売手法確立・コンテンツブラッシュアップ ②販売強化のための予約・決済システムの開発・構築</p>

1. 観光案内業務

活動目的

山岳郷エリアの観光窓口として村の駅アルプスの郷において観光案内業務を行い、来訪における案内業務を実施する。

令和2年度 主な活動

- ①村の駅アルプスの郷における対面窓口案内業務
- ②村の駅アルプスの郷における電話対応案内業務
- ③雑誌校正・取材対応業務

電話対応件数

単位:件

エリア	令和2年度												年計
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
北アルプス	4	4	9	10	3	3	4	1	0	0	0	1	39
上高地	30	9	13	8	12	9	4	6	2	4	4	17	118
白骨温泉	4	2	3	2	1	1	2	2	3	1	1	1	23
乗鞍高原	1	2	3	5	12	5	11	6	2	1	2	3	53
乗鞍岳	0	1	4	6	3	4	5	4	1	0	0	1	29
沢渡・沿線	1	0	1	1	0	0	1	1	1	1	0	0	7
奈川・沿線	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	2
山岳郷エリア計	40	18	33	32	31	23	27	20	9	7	8	23	271
松本市・東	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
安曇野	0	0	0	2	2	2	1	2	0	0	0	1	10
奥飛騨	0	1	0	2	3	3	4	2	1	1	2	1	20
道路案内	0	2	7	12	15	14	4	7	10	10	8	10	99
広域案内計	0	4	7	16	20	19	9	11	11	11	10	12	130
事務会社等	86	35	29	26	24	22	19	25	24	15	20	29	354
外国人	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他計	86	35	29	26	24	22	19	25	24	15	20	29	354
合計	126	57	69	74	75	64	55	56	44	33	38	64	755
窓口訪問者計	28	36	34	24	24	29	26	34	18	9	14	24	300

令和2年度 雑誌校正依頼

依頼日	雑誌名	依頼内容	担当	雑誌・記事名	依頼内容
4月7日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	JTB専業型企画商品【夏旅】	旅行パンフレットの制作
4月14日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	月刊誌「旅の手帖」	上高地田代温泉「花の高原トレッキング」の特集
5月8日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	月刊Cheek7月号	明神池ご紹介ページ
6月17日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	JTB旅行パンフレット	旅行パンフレットの制作
6月17日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	JR東海ツアー「夏から秋の山梨・長野 日曜の旅」	旅行パンフレットの制作
6月19日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	「関東東北じゃらん」東海じゃらん10月号	乗鞍紅葉特集
6月30日	Web	○	山 上 白 鳥 池	「まぶる観光情報紅葉特集2020」	紅葉特集
7月16日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	じゃらん「紅葉を愛でる 秋の信州旅(飯)」	旅行パンフレットの制作
8月6日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	じゃらん11月号にて「紅葉名所カタログ」	紅葉特集
8月13日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	「秋は 東海版2020」	紅葉特集
8月20日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	ウォーカープラス	紅葉特集
8月27日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	JTB旅物語	旅行パンフレットの制作
9月9日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	まぶる「ドライブ東海・北陸 信州ベスト」	旅行パンフレットの制作
11月17日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	まぶるマガジン信州	各エリアの紹介
12月23日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	まぶる信州22	上高地紹介
1月15日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	まぶる日曜温泉シリーズ	東海・北陸・信州版
1月15日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	まぶる日曜温泉シリーズ	首都圏からの日曜版
2月4日	Web	○	山 上 白 鳥 池	じゃらん旅行情報配信サイト	吊り橋厳選2.5特集(河童橋)
2月18日	パコ	○	山 上 白 鳥 池	「Ueトラベル」大人の休日倶楽部 旅マガジン4月号」	上高地特集
3月18日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	まぶるマガジン	温泉やど 関東・甲信22年版
3月26日	雑誌	○	山 上 白 鳥 池	大人の休日倶楽部	上高地を訪ねるツアー

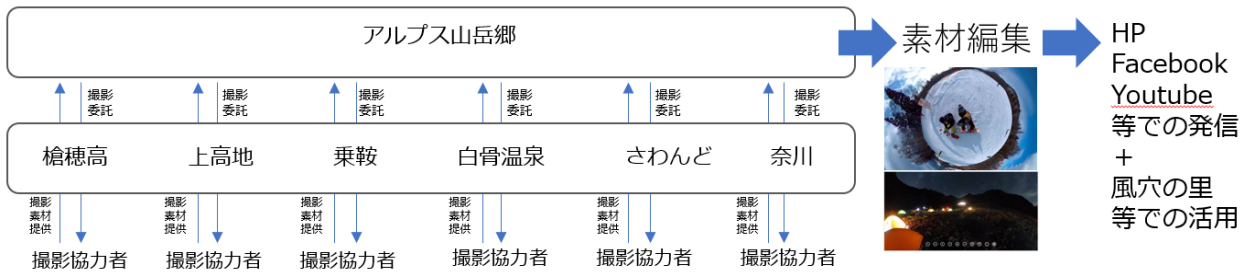
2. プロモーション事業

活動目的

山岳郷エリアの市場価値を高め、認知向上だけでなく来訪・再訪につながる取組を通じて、交流人口拡大・地域消費の増加をめざす

令和2年度 主な活動

- ① アルプス山岳郷マップ作成（日本語・英語）
- ② 360度カメラPR素材作成
- ③ WEBサイト運用



3. マーケティング事業

活動目的

山岳郷エリアの市場価値を高め、認知向上だけでなく来訪・再訪につながる取組を通じて、交流人口拡大・地域消費の増加をめざす

令和2年度 主な活動

- ① 域内事業者向けアンケート調査実施
- ② 来訪者向けネット需要調査

調査目的

現在のエリア内事業者の利用実態に対する感覚値と実際の訪問客の実態を確認し、今後のコンセプト策定およびプログラム検討・活動に活用していく。
また、コロナ禍における観光行動の変化等についての需要予測としても活用していく。

調査手法

- ① 域内事業者向けアンケート: WEBフォーム
- ② 一般者向けアンケート: ネット調査
(マクロミルモニター)

調査期間

- ① 2020/10/10~11/15
- ② 2021/03/03~03/05

調査対象者

① 域内事業者

北アルプス山小屋友交會	19
上高地観光旅館組合	19
のりくら観光協会	98
白骨温泉旅館組合	13
さわんど温泉観光組合	13
奈川観光協会	26
計	188

② 一般利用者※過去2年間に本エリアの訪問経験がある人

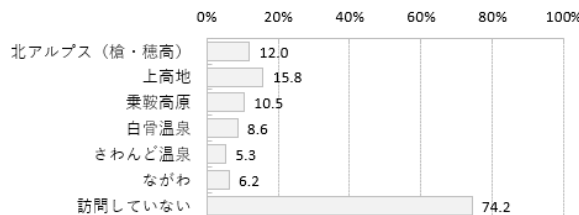
北アルプス	31
上高地	42
乗鞍高原	42
白骨温泉	42
さわんど温泉	21
奈川	31
計	209

サンプル数

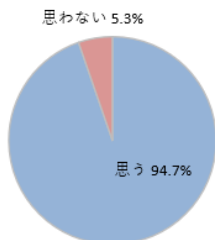
- ① 域内事業者: 28ss
- ② 一般利用者: 209ss

- 緊急事態宣言後に本エリアを訪問したのは全体の26%で、74%は訪問していない。
- 新型コロナウイルス感染拡大終息後の本エリアへの訪問意向は約95%と非常に高い。
- アフターコロナにおいて、当エリアへ期待することとして、「豊かな自然を満喫したいこと」と「温泉でゆっくりしたいこと」の2点が大きい。

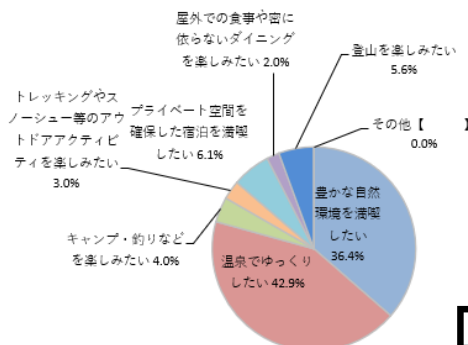
Q13: 2020年4月の緊急事態宣言後にアルプス山岳郷エリアで訪問したことがある地域をすべて選択ください。(いくつでも)



Q14: 新型コロナウイルス感染拡大が収束したら、またアルプス山岳郷エリアを訪問したいと思いますか?



Q15: アフターコロナの観光において、アルプス山岳郷エリアへの訪問に最も期待することはなんですか?



4. 交通利用推進事業

活動目的

エリア内をスムーズに周遊できる二次交通の開発・確立をめざす

令和2年度 主な活動

- ①アルピコ交通との協力/連携によるバス利用の改善・検討
- ②ナショナルパークゲート及び沢渡BTの有効活用の検討

〇1 アルピコ交通株式会社との協力/連携によるバス利用の改善・検討

- ・アルプス山岳郷とアルピコ交通の課題を相互に補いながら地域の意見を反映していく取り組み
- ・沢渡バスターミナルハブ化“バスタ沢渡”の実現に向けての検討

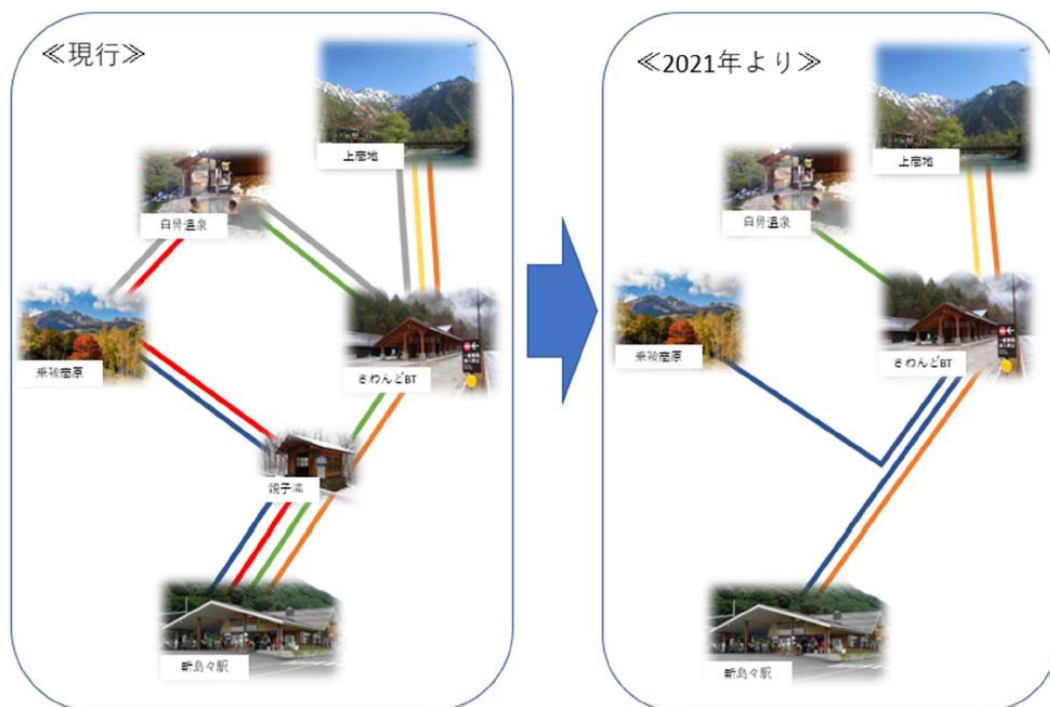
〇2 ナショナルパークゲート及び沢渡バスターミナルの有効活用についての検討（環境省との連携強化）

- ・沢渡バスターミナルハブ化に向け、ナショナルパークゲートの通年利用、バスターミナルへの乗入等

- ・ナショナルパークゲートの通年利用に向けてのFS検討
- ・ナショナルパークゲートに相応しい地域づくりをしていくための講演会・勉強会の開催
- ・沢渡ナショナルパークゲートエリア活性化についての検討会の開催

➤ 沢渡バスターミナルハブ化“バスタ沢渡”の構想については、令和3年度以後は、(一財)ピアーズさわんどと環境省・松本市と事業化に向けて検討を進めていく。

沢渡バスターミナルハブ化“バスタさわんど”イメージ図（アルピコ交通株式会社より）



5. 地域づくり推進事業

活動目的

地域に住む皆様の豊かな暮らしづくりを下支えすることをめざす。

令和2年度 主な活動

- ①奈川の地域づくりに関わるファシリテートの実施
- ②地域の景観整備に関する有識者招聘
- ③地域づくりインタビュー記事の作成



アルプス山岳郷
地域の取り組みインタビュー
2020-2021

#アルプスの感動を 日々の暮らしに

雄大な自然に包まれた、アルプス山岳郷。ここでは、自然の恵みを受けながら、日々の暮らしを楽しんでいる。魅力あふれる「人」があちこちにいます。そこで、この地域の「人」と「自然」のかけがえのない魅力を、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

暮らしの今ある魅力を全面に、2020年春から、様々な方のインタビューを始めた。合言葉は「アルプスの感動を日々の暮らしに」。ここでは、暮らしの中、この地域の人々の暮らしの今ある魅力が、あちこちに溢れている。この冊子では、アルプス山岳郷公式ブログに掲載している2020年春〜2021年春に行なった9つのインタビュー記事を集めてご紹介しています。

Alpi Sangakukyo Interview

アルプス山岳郷
https://alps-sangakukyo.jp/

アルプス山岳郷 8つの 取り組みインタビュー

Alpi Sangakukyo Interview

01 アルプス山岳郷

観光地域の活性化だけでなく、地域づくりを通じて、アルプス山岳郷の魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/01/

02 3か所E温泉の新名物「さんかん丼」

温泉地ならではの魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/02/

03 農産物ギフトNORIKURA Gelo&Cafe

GFT NORIKURAの魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/03/

04 奈川「地域でのなご伝統特産 保平みかん」

奈川産の伝統特産「保平みかん」の魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/04/

05 祭典「登山道を守る人たちの思いに届ける」

登山道を守る人たちの思いを、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/05/

06 中部山岳国立公園管理事務所〜絆〜

中部山岳国立公園管理事務所の魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/06/

07 中部山岳国立公園管理事務所〜絆〜

中部山岳国立公園管理事務所の魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/07/

08 中部山岳国立公園管理事務所〜絆〜

中部山岳国立公園管理事務所の魅力を、観光だけでなく、日々の暮らしに活かす取り組みを取材し、地域づくりインタビュー記事の作成を行いました。

https://alps-sangakukyo.jp/entry/2021/02/08/



6. コンテンツ造成事業：eBIKEを活用した観光コンテンツ開発

活動目的

「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。

令和2年度 主な活動

【環境省補助金活用事業】

- ①eBIKEの購入
- ②ガイドモニターの実施
- ③情報発信のためのアプリの作成
- ④情報発信のためのWEBページの作成
- ⑤人材育成のためのガイドノート作成

<2台導入>



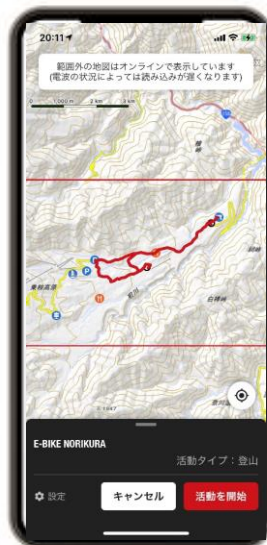
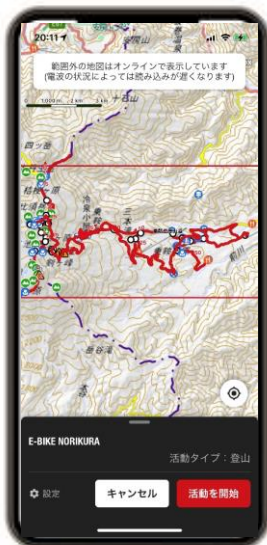
<4台導入>



北アルプスの水の恵みで
デトックスコース

“Top of Japan” Mountサイクルで日
本最高地を楽しむコース

乗鞍・山岳信仰のルーツを探る
文化探求&スイーツめぐりコース



7. コンテンツ造成事業：冬の国立公園「大人の合宿」形成事業

活動目的

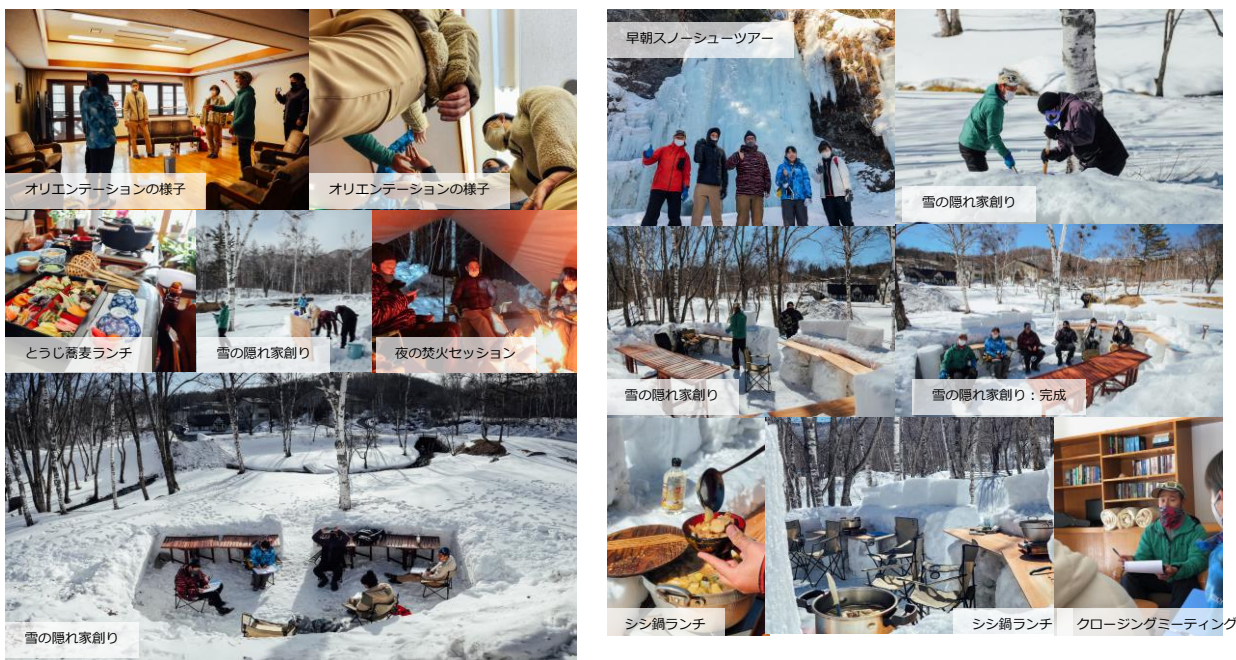
「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。

令和2年度 主な活動

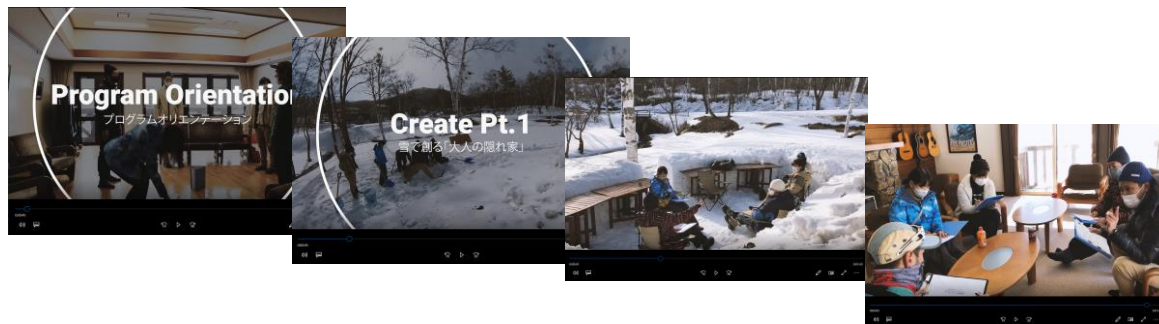
【環境省補助金活用事業】

- ①地域内ワークショップの実施
- ②コンセプト需要調査の実施
- ③モニターツアーの実施
- ④情報発信のためのWEBページの作成
- ⑤情報発信のためのオンラインコンテンツの作成

<モニターツアーの様子>



<動画（1分50秒）>



8. コンテンツ造成事業： 新価値創造モデルを活用したコンテンツ開発および地域PR推進事業

活動目的

「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。

令和2年度 主な活動

- 【元気づくり支援金活用事業】
 <体験向上価値および満足度向上のためのツールの整備>
 ①オリエンカード（非接触のオンライン上で閲覧できるようPDFデータにて6種類のカードを作成）
 ②動画制作（オリエンおよびPR用として2分30秒の動画1本作成）
 <プロモーション>
 ③Google広告の配信（事業期間中1700万表示／57200クリック）
 <参加者アンケート分析>
 ④調査実施・分析（個別プログラム参加者20ssの回答を回収・分析）

<作成した動画>（2分30秒）



<作成したオリエンカード>



9. コンテンツ造成事業：アルプスフォトクエスト事業

活動目的

「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。

令和2年度 主な活動

【観光庁被災地の誘客多角化事業活用事業】

①温泉を目当てに来ている顧客層をターゲットに景色を楽しむフォトコンテンツを訴求する。

・冬の絶景ポイントを見ることができるアプリを開発し、温泉以外の過ごし方を提案する。

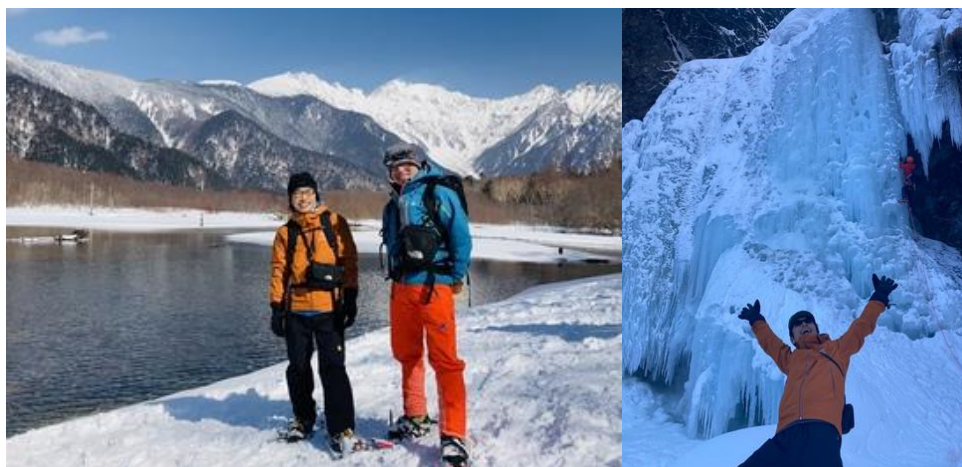
②ラジオメディアと連携したPRおよび高付加価値ガイドツアーの開発を行う。

・各分野の専門家（プロカメラマンなど）が案内する専門性の高い少人数制のツアーを作成することで価値を高め冬の上高地の新たなブランド化を目指す。

あるぷすフォトクエストアプリ



登山家・三戸呂拓也と行く上高地フォトツアー



活動目的

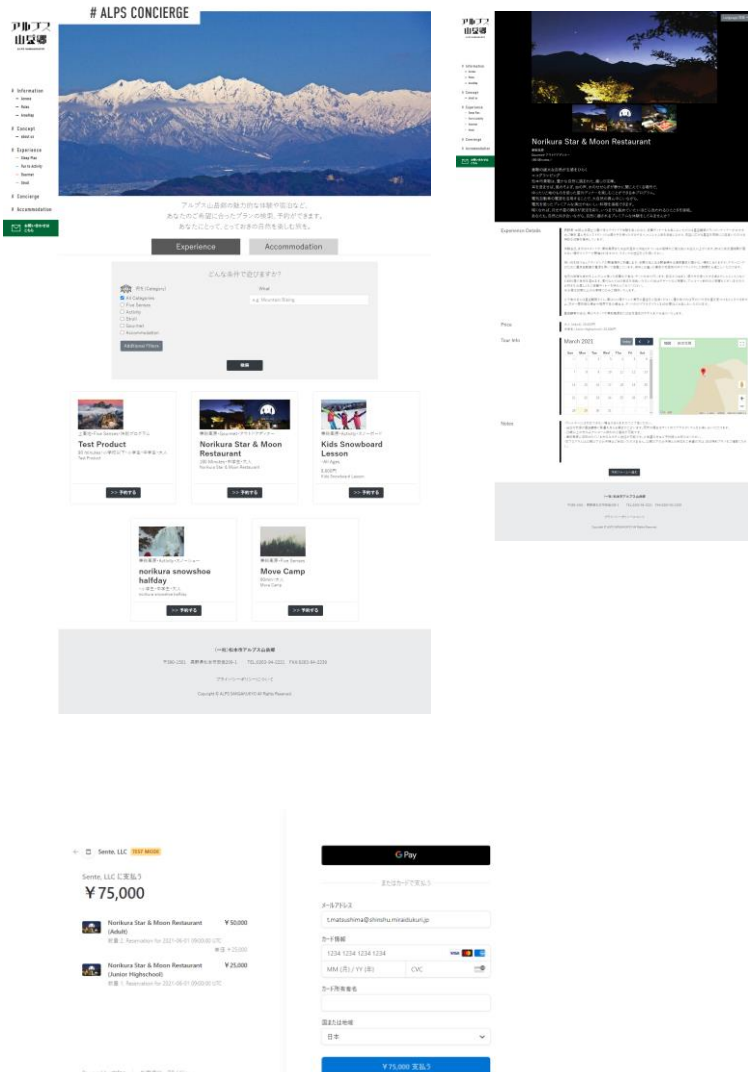
「#アルプスの感動を日々の暮らしに」を具体化する体験ストーリーを創造し、ストーリーに沿った観光プログラムの商品化をめざす。

令和2年度 主な活動

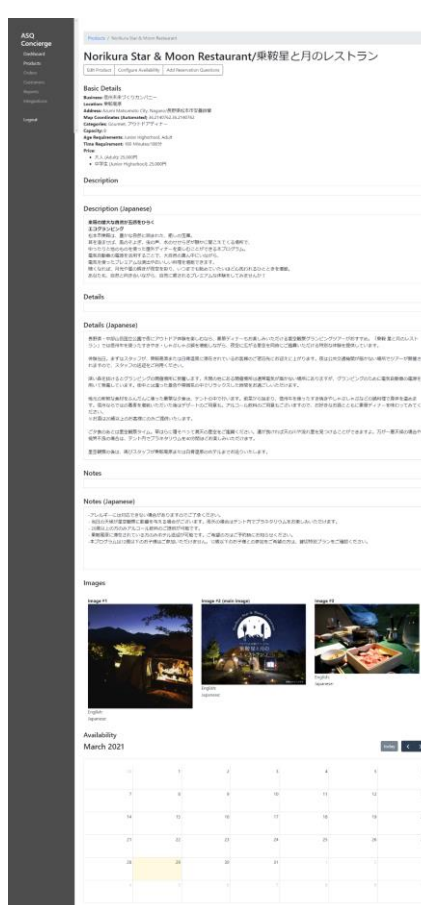
【観光庁世界水準のDMO促進形成事業活用事業】
外部から専門人材を登用することで、地域内プログラムの販売強化に向け予約・決済システムを開発し、収益源の確保に向けたビジネスモデルを構築する。

- ① 観光プログラムの開発・運営スキームの調整・販売手法確立・コンテンツブラッシュアップ
- ② 販売強化のための予約・決済システムの開発・構築

<ユーザー画面>



<管理画面>



令和2年度収支決算報告

令和2年度 (一社) 松本市アルプス山岳郷 収支決算書

会計年度: 令和2年4月1日～令和3年3月31日

令和2年度 収支合計	収入合計	¥43,531,339
	支出合計	¥42,390,855
	差引合計	¥1,140,484

収入の部

単位: 円

項目	本年度当初 予算額	収入決算額	比較増減	区分		金額	内容
				区 分	金 額		
繰越金	468,025	468,025	0	繰越金	468,025		
会 費	1,544,000	1,708,000	164,000	会 員 会 費	1,708,000		地区会員、新規会員会費
補 助 金	6,340,000	11,153,000	4,813,000	市 補 助 金	6,340,000		松本市補助金
				県 支 援 金	4,813,000		長野県元気づくり支援金
プ ロ モ ー シ ョ ン 委 託 費	5,000,000	5,000,000	0	プ ロ モ ー シ ョ ン 委 託 費	5,000,000		松本観光コンベンション協会
雑 収 入	905,975	1,204,728	298,753	事務収入等	10,000	事務局手当(梓川流域を守る会)	
				委託販売	6,320	上高地パンフ/後線カレンダー/名刺作成	
				新年会費	0	新年会会費	
				雑入(事業費)	811,300	マップ制作(負担金)・土地使用料等	
				雑 入	377,108	自動販売機収入 ほか	
				携 帯 省 補 助 金	4,773,000	eIKEを活用した観光コンテンツ開発	
その他 交付金補助 金	4,584,000	23,997,586	19,413,586	携 帯 省 補 助 金	4,691,000	冬の国立公園大人の合宿プロジェクト形成事業	
				観 光 庁 事 業	13,068,000		
				観 光 庁 交 付 金	1,465,586	世界水準のDMO形成促進事業	
収入合計	18,842,000	43,531,339	24,689,339				

支出の部

項目	本年度予算額	支出決算額	比較増減	区分		金額	内容
				区 分	金 額		
総務費	3,980,400	3,794,350	△ 186,050	人 件 費	3,794,350		事務局人件費 704,350 コンサルティング 1,320,000 事務局事務費 1,770,000
事務所費	1,527,476	1,800,124	272,648	消 耗 品 費	30,978		事務消耗品 8,978 印刷製本費 22,000
				水 道 光 熱 費	275,856		電気料 162,054 上下水道料 49,370 灯油 64,422
				通 信 費	339,098		電話料 110,573 郵便料 39,325 JAVIS 110,573 eサーバー使用料 13,200 ASP使用料 176,000
				役 務 費	117,587		送料(パンフ等) 15,401 振込手数料 64,900 廃棄物処理料 33,000 収入印紙代 4,256
				租 税 公 課	71,000		法人税 50,000 県民税 21,000
				源 泉 所 得 税	16,395		所得税 16,395
				使 用 料	499,172		事務所使用料 257,122 京セラリース代 77,506 電話機リース 134,784 JDL使用料 29,750
				外 注 費	73,700		外注費 73,700
				委 託 料	376,358		電気保安検査 225,108 自動ドア点検 49,500 その他委託料 101,750
				旅費・交際費	80,000	83,500	3,500
				交 際 費	22,000		交際費 28,850
事業費	12,025,000	36,157,796	24,132,796	DMO形成促進事業	1,465,586		
				地域PR推進事業(元気づくり)	5,802,000		
				eIKEを活用した観光コンテンツ開発	4,768,800		
				地域づくり事業	820,000		
				コンテンツ造成事業	570,459		
				マーケティング事業	825,000		
				プロモーション事業	3,713,041		
				大人の合宿形成事業	4,324,910		
				交通利用事業	800,000		
				観光序リブランディング事業	13,068,000		
負担金	294,000	334,000	40,000	負 担 金	334,000		
				松本マンション	190,000		海外都市交流団 10,000
				空港地元利用協	10,000		学習旅行協賛協 10,000
				山岳フォーラム	50,000		日本観光振興協会 40,000
				権ノ井線協	5,000		R158改良促進 10,000
				日産観光協賛会	0		松本法人会 5,000
				大野田町会費	3,000		その他 0
雑費	854,000	221,085	△ 632,915	雑 費	221,085		事務用品 78,193 借り入れ利息 142,892
予備費	81,124	0	81,124	予 備 費	0		
支出合計	18,842,000	42,390,855	23,548,855				

令和3年 5月 7日 提出 一般社団法人松本市アルプス山岳郷 代表理事 齋藤 元紀

※当初予算案からの大幅な予算額の増加については、社員総会承認時に未確定だった補助金・交付金等の採択によるものであり、増額予算事業については都度理事会にて承認を得て事業を推進しています。

＜事業費内訳＞

費目	見込額	項目	詳細区分	単価	数量	合計	備考	財源
DMO形成促進事業	¥1,465,586	人件費(R2年6月～R3年3月)	人件費	0	1式	¥1,465,586	ストルーヴ・ライニ氏	観光庁交付金
地域PR推進事業	¥4,802,000	広告出稿料	広告出稿費	1,270,000	1式	¥1,270,000	Google広告費	元氣づくり支援金
		コンテンツ開発	コンテンツ開発費	4,532,000	1式	¥4,532,000		
e-BIKEを活用した観光コンテンツ開発	¥4,768,800	備品購入	e-bike、メンテナンス費	110,000	1式	¥110,000		環境省補助金
		業務委託(プログラム企画、PR業務、セルソール開発業務)	企画開発業務費	3,113,000	1式	¥3,113,000		
		有地使用料	有地利用費、整備費	1,545,800	1式	¥1,545,800		
		車両使用料等	車両使用費	40,000	1式	¥40,000		
地域づくり事業	¥820,000	会議・ワークショップ	会議費	330,000	1式	¥330,000		松本市補助金
		記事作成・冊子作成	製作費	450,000	1式	¥450,000		
コンテンツ造成事業	¥570,459	使用料	備品購入・土地使用料	53,400	1式	¥53,400		コンテンツ負担金
		計画策定	委託費	217,059	1式	¥217,059		
プロモーション事業	¥9,713,041	ダム湖利用推進費	ダム湖利用	300,000	1式	¥300,000		コンテンツ負担金
		エリアマラ作成費	写真・印刷・翻訳	1183,000	1式	¥1,183,000		
マーケティング事業	¥825,000	セルソール費用	撮影・備品購入・素材編集	1980,041	1式	¥1,980,041		コンテンツ負担金+自主財源
		調査費	調査費	550,000	1式	¥550,000		
		集計・分析費	集計・分析	275,000	1式	¥275,000		
		会議室使用料	会議室利用料	8,790	1式	¥8,790		
冬の国立公園「大人の合宿」プロジェクト形成事業	¥4,324,910	プログラム企画など	企画/協力費	275,000	1式	¥275,000		環境省補助金
		コンテンツ開発・調査・PR業務	コンテンツ開発費	261,120	1式	¥261,120		
		セルソールイベント開催	開発業務費	143,000	1式	¥143,000		
		会議室使用料	会議室利用料	2,000,000	1式	¥2,000,000		
交通利用事業	¥800,000	オフライン広告費	Facebook広告・LP制作	600,000	1式	¥600,000		松本市補助金
		オフライン広告構築	オフライン構築費	770,000	1式	¥770,000	外注費	
		会議室使用料	会議室利用料	60,000	1式	¥60,000	外注費	
被災観光地の誘客多角化・収益力向上事業	¥1,306,800	調査・アドバイザーなど	調査費	129,800	1式	¥129,800		観光庁交付金
		モニターアンケート実施	モニター実証費	400,400	1式	¥400,400	外注費	
合計金額						¥36,157,796		

監査報告書

一般社団法人松本市アルプス山岳郷


代表理事 齋藤 元紀 殿

令和2年度 一般社団法人松本市アルプス山岳郷の会計諸帳簿及び証拠書類等の監査の結果、適正に処理されていることを認め、報告します。

令和 3 年 5 月 7 日

一般社団法人松本市アルプス山岳郷

監事 福島 真 印 

監事 青柳 浩一郎 印 

第2号議案 令和3年度事業計画案および予算案

令和3年度事業計画書(案)

一般社団法人 松本市アルプス山岳郷

令和3年度 事業計画書(案)

<理念>

世界に誇る日本の山岳リゾートを目指して

#アルプスの感動を日々の暮らしに

地域に住んでいる人が、豊かで、幸せな暮らしを営むこと＝自分たちの地域に誇りを持ち、楽しみながら暮らすライフスタイルを確立すること。そのために、地域が“稼ぐ”仕組みを創出し、持続可能な観光地域づくりを推進する。

<ミッション>

(一社)松本市アルプス山岳郷は、松本の西山地区である槍穂高・上高地・乗鞍高原・白骨温泉・沢渡・奈川の6地区が横断的に向上していき、地域が自立していくための下支えをすることをミッションに活動し、エリア全体の交流人口拡大・産業化・雇用促進・移住/定住促進を実現していく。

<活動指針>

上記ミッションを実現するため、活動指針に合わせた事業推進を継続していく。

- ① 地域に住む人々の豊かな暮らしづくりを支える活動
- ② 訪れる人がこの素晴らしい自然の体験を通じて“アルプス山岳郷エリア”の魅力を感じ、また来たいと思える滞在環境を作る活動

<推進体制>

(一社)松本市アルプス山岳郷の事業を推進する体制を以下の通り組織する。



<令和3年度事業 基本方針>

●ポストコロナを見据えた観光振興の推進

●松本市との連携を強化した地域振興の推進

●中部山岳国立公園の利用および保全の取組と連動した事業の推進

【令和3年度事業計画】

	事業名	事業費 [単位:千円]
	事業概要	
1	<p>観光案内業務・事務局・戦略策定業務</p> <p>アルプスの郷観光案内窓口及び電話での観光案内、資料発送事務等、当エリアを訪れる観光客への情報提供を行なう。近隣都市町村等の関係機関と情報交換を行ないながら、広域的な観光宣伝と観光客へのサービス向上に努める。</p> <p>① 観光案内所窓口 (9:00-16:00)</p> <p>② 案内パンフレット等の配布、イベント等の対応</p> <p>③ 雑誌・Web 記事・広報データの校正及びエージェンツへの画像データの提供</p> <p>④ 会員用の名刺の作成・販売</p>	<p>5,944 千円(人件費)</p> <p>(観光案内所人件費 2160 千円・事務局人件費 2464 千円・事業支援費 1320 千円)</p>
2	<p>エリアプロモーション事業(広報事業)</p> <p>エリア内の各協会・組合と連携しながら、デジタルに軸を置いたプロモーションを実施し、旅前情報としてアルプス山岳郷エリアの魅力を発信していく。また、旅中情報ツールとしてこれまで活用していたエリアマップを奥飛騨温泉郷と連携して改定・増刷を行い、周知していく</p> <p>① サイト運用</p> <p>② Google 広告を活用した WEB プロモーションの実施</p> <p>③ 松本市と連携したプロモーションの実施</p>	<p>3,300 千円</p> <p>(内訳)</p> <p>●プロモーション費 1,100 千円</p> <p>●ネット広告配信 1,320 千円</p> <p>●HP/SNS 管理運営 880 千円</p>
3	<p>ポストコロナを見据えた地域コンテンツ集約・プロモーション事業</p> <p>令和元年度に R2 年度に具体化した五感×睡眠体験プログラムの実売を行い、具体的な販売実績を積んでいく。</p> <p>① 広告宣伝</p> <p>② 情報収集</p> <p>③ アクティビティマップ作成</p>	<p>(元気づくり支援金活用事業)</p> <p>5,764 千円</p> <p>(内訳)</p> <p>●広告宣伝費 990 千円</p> <p>●情報収集・サイト運用費等 2,970 千円</p> <p>●アクティビティマップ 1,804 千円</p>
4	<p>マーケティング事業</p> <p>地域内の事業者および来訪者向けのアンケート調査を実施し、入込客数の傾向や訪問意向の変化等を継続的に調査・分析。</p> <p>① 調査実施(域内事業者/来訪者)</p> <p>② 分析</p>	<p>990 千円</p> <p>(内訳)</p> <p>●調査実施費 605 千円</p> <p>●集計・分析費 385 千円</p>

5	交通利用推進事業	1,000 千円 (内訳) ●調査及び会議費 640 千円 ●要望活動費 360 千円
	<p>広域交通の利用環境の向上と地域の活性化を推進するために、中部縦貫自動車道の早期建設に向けて、地域と一体となった検討会を開催し、アルプス山岳郷が主体となり要望事項をとりまとめ、団体・首長・中央省庁への建設促進活動を実施していく</p> <p>① 調査及び検討会議 ② 建設促進活動等</p>	
6	コンテンツ造成事業	1,188 千円 (内訳) ●SDGs コンテンツ開発 550 千円 ●ダム湖運営支援 638 千円
	<p>地域内の体験事業者および環境省・松本市と連携しながら、着地型の観光コンテンツの開発や運用を行い、旅の目的として本エリアの魅力を発信していく。</p> <p>① SDGs ツアーのテスト実施 ② ダム湖利用運営支援</p>	
7	観光地域づくり推進事業	1,045 千円 (内訳) ●人材育成セミナー605 千円 ●情報発信費 440 千円
	<p>地域に暮らす住民の満足度や移住定住の促進に繋げるため、各地域の町会・団体と連携しながら地域住民の豊かな暮らしづくりのお手伝いをしていく。</p> <p>① 人材育成・セミナー等 ② 地域内情報発信</p>	
8	山の日事業	1,430 千円
	山の日制定日に合わせたイベント等の実施(負担金)	
9	乗鞍緊急誘客宣伝事業	2,250 千円
	<p>乗鞍高原に特化した宣伝広告の実施</p> <p>① メディア露出(テレビ・ネット等とのタイアップ広告) ② その他プロモーション事業</p>	
10	のりくら高原ミライズ事業(環境省請負業務)	1,000 千円
	のりくら高原ミライズ構想協議会事務局運営	

11	<p>復興プロモーション事業</p> <p>アルプス山岳郷エリア価値向上に資するプロモーションの実施</p>	2,110 千円
その他	<p>(1)地域内インフラ整備の検討(登山道・看板・遊歩道・通信環境等) ※登山道整備・人材活用等に関して、行政との連携調整の要望活動</p> <p>(2)環境省 満喫プロジェクト Big Bridge 構想との連携</p> <p>(3)街並み景観専門人材登用の検討</p> <p>(4)国際競争力の高いスノーリゾート形成促進事業</p> <p>(5)地域内人材確保の検討(人材募集・インターン活用)</p> <p>(6)観光庁 地域観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業</p> <p>(7)環境省 国立・国定公園への誘客の推進事業</p> <p>(8)重点支援 DMO への認定を目指した組織強化</p> <p>(9)ゼロカーボン・脱プラ等 SDGs の推進に係る取組</p> <p>(10)地域内での情報共有に関わる仕組みづくり</p>	

松本高山Big Bridge構想とは

中部山岳国立公園南部地域を間に挟み、松本市街地と高山市街地を繋ぐ横断ルート
を“Big Bridge（ビッグブリッジ）”と位置付け、多彩で上質な体験と滞在ができる魅
力的な観光ルートにプロジェクトチームのメンバーで磨き上げていく構想。



松本高山Big Bridge構想実現プロジェクトチーム 構成員

	団体名・会社名
観光団体	(一社) 松本市アルプス山岳郷
	(一社) 松本観光コンベンション協会
	(一社) 奥飛騨温泉郷観光協会
	飛騨乗鞍観光協会
	(一社) 飛騨・高山観光コンベンション協会
	(一社) 長野県観光機構
	(一社) 岐阜県観光連盟
交通事業者	アルピコ交通株式会社
	濃飛乗合自動車株式会社
アクティビティ事業者	株式会社美ら地球、株式会社ノーススター等
地方自治体・ 国の行政機関	松本市
	高山市
	長野県
	岐阜県
	国土交通省 北陸信越運輸局・中部運輸局
	環境省 中部山岳国立公園管理事務所

令和3年度事業予算（案）

令和3年度 予算案	収入合計	¥23,998,484
	支出合計	¥23,998,484
	差引合計	¥0

収入の部

単位:円

項目	予算額	区分	金額	内容
繰越金	1,140,484			
会費	1,600,000	会 員 会 費	1,600,000	地区会員、新規会員会費
補助金・負担金	20,060,000	市 補 助 金	6,340,000	松本市補助金
		プ ロ モーション 負 担 金	11,610,000	松本市負担金
		復 興 プ ロ モーション 負 担 金	2,110,000	松本市負担金
		県 支 援 金	0	長野県元気づくり支援金申請中
その他補助金・ 交付金	0	観 光 庁 交 付 金	0	
		環 境 省 補 助 金	0	eBIKE事業/岳都リゾート交流事業 申請中
雑 収 入	198,000	事 務 収 入 等	10,000	事務局手当（梓川流域を守る会）
		委 託 販 売	8,000	上高地パンフ/稜線カレンダー/名刺作成
		新 年 会 費	0	新年会会費
		雑 収 入	180,000	自動販売機収入 ほか
委託事業	1,000,000	環 境 省 会 議 運 営 事 業	1,000,000	のりくら高原ミライズ会籍 運営委託費
		観 光 庁 実 証 事 業	0	地域の観光の磨き上げを通じた域内連携促進に向けた実証事業申請中
収 入 合 計	23,998,484			

支出の部

項目	予算額	区分	金額	内容							
総務費	5,944,000	人 件 費	5,944,000	業内所人件費	2,160,000						
				事務局人件費	2,484,000						
				事業コンサルティング費	1,320,000						
事務所費	1,724,076	消 耗 品 費	370,000	事務所消耗品	150,000	印刷製本	120,000				
		水 道 光 熱 費	241,000	電気料	130,000	ほか諸雑費	100,000				
				灯油	60,000	上下水道料	51,000				
		通 信 費	182,128	電話料	120,000	郵便料	16,696				
				プレッツ光		IT回線使用料	15,672				
		役 務 費	232,000	送料(パンフ等)	47,000	搬送手数料	40,000				
				廃棄物処理料	35,000	名刺作成	110,000				
		租 税 公 課	71,000	法人税	50,000	県民税	21,000				
		使 用 料	486,908	事務所使用料	249,282	会議室使用料	10,000				
				電話機リース	146,016	複合機リース	81,600				
委 託 料	141,040	電気保安業務	23,000	自動ドア点検	50,000						
		決算書作成	68,040								
旅費・交際費	150,000	旅 費	100,000	出張旅費	100,000						
		交 際 費	50,000	交際費	50,000						
事業費	15,466,000	交通利用推進 事業	1,000,000	会籍費/利用アンケート等							
		ポストコロナを見据えた 地域コンテンツ集 約・プロモーション事 業	1,153,000	MAP作成等							
		マーケティング事業	990,000	事業者・来訪者向けアンケート調査							
		プロモーション事業	3,300,000	サイト運営/WEB広告実施/プロモーション費							
		観光地・地域づくり推進事 業	1,045,000	地域インタビュー記事作成/地域づくり分科会の開催等							
		コンテンツ造成事業	1,188,000	ダム湖運営/SDGsツアー開発							
		山の日事業	1,430,000								
		復興プロモーション事 業	2,110,000								
		環境省請負事業	1,000,000								
乗鞍緊急誘客宣伝事業	2,250,000										
負担金	436,000	負 担 金	436,000	松本コンベンション	190,000	海外都市交流委	10,000				
				空港地元利用協	10,000	学習旅行誘致協	10,000				
				山岳ファミリー委	50,000	日本観光振興協会	120,000				
				篠ノ井線協	5,000	R156改良促進	10,000				
				国際観光施設協会	12,000	松本法人会	6,000				
				大野田町会費	9,000	梓川流域を守る会	10,000				
				雑 費	200,000	雑費	200,000	さわんどお月見会	0	借り入れ利息	200,000
				予備費	78,408	予 備 費	78,408	新年会経費	0	登記変更	50,000
支 出 合 計	23,998,484										

令和3年度事業費内訳

<事業費内訳>

項目	費目	予算額	項目	詳細区分	単価	数量	予算額【内訳】		財源
							数量	金額	
1	事務局人件費	¥5,944,000	観光案内業務人件費	事務員各・9:00~17:00	1200	1800時間	¥2,160,000	松本市補助金	
			事務局人件費	専任人材	280000	8ヶ月	¥2,464,000	松本市補助金	
2	ポストコロナを具現えた地域コンテンツ集約・外注費	¥1,153,000	調査費	Google広告	900000	1式	¥990,000	元気づくり支援金4611000	
			外注費	コンテンツ収集委託費 WEB&e-コンテンツ制作・送 Funto 山岳郷マップ制作・印 調査実施・回収・集計作業 分析費	1,800,000 1,640,000 350000	1式 1式 1式	¥1,990,000 ¥1,804,000 ¥385,000	+自己負担1153000	
3	ローケーション事業	¥990,000	調査費	調査及び検討会議費 建設促進活動要請活動	640000 360000	1式 1式	¥640,000 ¥360,000	松本市補助金	
4	交通利用推進事業	¥1,000,000	事業費	プロモーション費 WEB広告委託 サイト運用費・更新	1000000 200000 800000	1式 6エリア	¥1,100,000 ¥1,320,000 ¥880,000	プロモーション負担金	
5	エリアプロモーション事業(広報事業)	¥3,300,000	プロモーション	SDGsツアー造成テスト SDGsツアー造成テスト	500000 800000	1式 1式	¥550,000 ¥838,000	プロモーション負担金	
6	コンテンツ造成事業	¥1,188,000	コンテンツ造成備品費	3人用湖前利用	500000	1式	¥500,000	プロモーション負担金	
7	山の日事業	¥1,430,000	山の日事業	山の日事業	1300000	1式	¥1,430,000	プロモーション負担金	
8	東嶽緊急誘導宣伝事業	¥2,290,000	宣伝費	宣伝広告費	2250000	1式	¥2,250,000	プロモーション負担金	
9	のびのび高原リゾート事業	¥1,000,000	諸島業務	事務員運送費	1000000	1式	¥1,000,000	復興庁委託費	
10	復興プロモーション事業	¥2,110,000	宣伝費	宣伝広告費 専用メールマガジン	2110000 350000	1式 1式	¥2,110,000 ¥605,000	復興プロモーション負担金	
11	観光地域づくり推進事業	¥1,045,000	事業費	情報発信・記事作成費	400000	1式	¥440,000	松本市補助金	

事業費計(人件費除) ¥15,466,000

第3号議案 理事の変更について

令和3年度理事名簿

役員名	氏 名	組 織・役 職 名	施 設 名
代表理事	齋藤 元紀	白骨温泉旅館組合 副理事長	山水観 湯川荘
常務理事	宮下 了一	のりくら観光協会 会長	P テンガロンハット
理事	奥原 宰	上高地観光旅館組合 副組合長	上高地西糸屋山荘
	山田 直	北アルプス山小屋友交會 会長	横尾山荘
	小山 義秀	北アルプス山小屋友交會 副会長	北穂高小屋
	齋藤 敬一	さわんど温泉観光組合 組合長	溪流荘 しおり絵
	横山 大祐	さわんど温泉観光組合 副組合長	上高地ホテル
	高宮 澄男	(株) ふるさと奈川 取締役	鳥屋沢
	筒木 隆雄	白骨温泉旅館組合	かつらの湯 丸永旅館
	良波 長司	のりくら観光協会 監事	ロッジふもと
	小林 史成	アルピコ交通株式会社 代表取締役	
	赤廣 三郎	松本市商工会議所 専務理事	
	川上 一治	稲核生産者組合 組合長	道の駅 風穴の里
	齋藤 浩幸	松塩地区猟友会安曇支部 支部長	
監 事	福島 眞	のりくら観光協会 前会長	旅館 福島屋
	青柳 浩一郎	上高地観光旅館組合 組合長	上高地温泉ホテル
CFO (財務責任者)			
CFO	高橋 邦夫	松本信用金庫 波田支店長	波田金融団幹事行
事 務 局			
事務局長	宮下 了一	のりくら観光協会 会長	P テンガロンハット

※赤字・・・令和2年度からの変更箇所

※アルピコ交通(株)の人事異動に伴い、三澤洋一氏が退任し、小林史成氏を新任する

※その他の赤字は、各地区の組織改編に準じて肩書等の変更

※CFOを新たに選出(理事ではなく、財務責任者として事業運営に関わっていただく)